

プロジェクト課題No. 1



# 担い手を核とした地域農業の継続・発展

## ◆ 対象名及び対象者数

気仙沼市 表山田・三段田地区

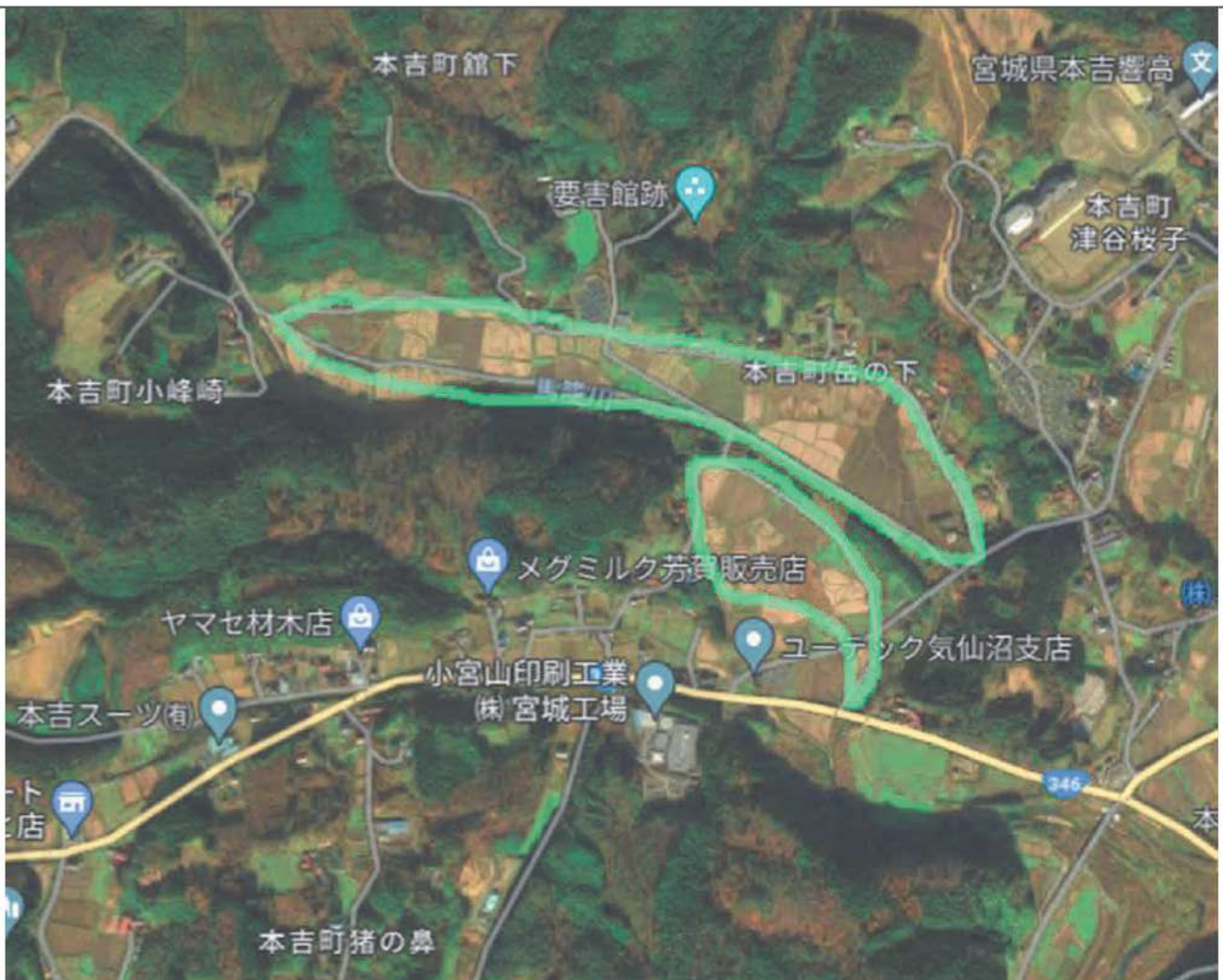
中心経営体 2 経営体及び主要農家 8 人

◆ 計画期間：令和 5 年度～令和 6 年度

◆ チーム員： ◎清水、早坂、菊池、門脇



1



2



# 1 課題の背景

- 高齢化の進行や後継者不足により、地域農業の維持が難しくなっている。
- 農地は不整形で小区画、土水路が多く、大雨時には浸水や土砂流入。



- 担い手への農地集積を図るため、農地整備事業を活用し効率的な営農を推進。
- 園芸作物導入による収益性の確保。
- 水稻の省力化を図り規模拡大を可能にする。



地域農業の継続・発展を目指す。

3

## 2 昨年度の目標及び成果・達成状況

- (1) 地域農業の将来の在り方について合意形成に向けた検討が行われ、課題が整理・共有される。
- (2) 地域農業の収益性を高めるための高収益作物候補品目について試験栽培を含む検討が行われる。
- (3) 乾田直播の試験栽培をとおり、改善点が整理される。

【数値目標】 担い手への農地集積について合意に達した面積  
R4 2.9ha →R5 2.9ha (→ R6 13.9ha) ※全面積14.8ha

4

## 2 昨年度の目標及び成果・達成状況

(1) 地域農業の将来の在り方について合意形成に向けた検討が行われ、課題が整理・共有される。

- ・ 中山間地域での優良事例の紹介
- ・ かわら版の発行
- ・ 課題としては、担い手の明確化と将来の営農計画として次年度検討へ

5

## 2 昨年度の目標及び成果・達成状況

(2) 地域農業の収益性を高めるための高収益作物候補品目について試験栽培を含む検討が行われる。

- ・ 「えだまめ」と「さつまいも」の試験栽培実施
- ・ それぞれ収量調査・収支・生産性を検討
- ・ えだまめを候補として次年度も栽培試験実施

6



## 2 昨年度の目標及び成果・達成状況

(3) 乾田直播の試験栽培をとおし、改善点が整理される。

- ・管内初の乾田直播栽培の播種等実演会、ドローンによる防除・追肥実演会、生育中間検討会の実施
- ・田を合筆したため漏水が発生し、追加作業が必要になったが、収量は良好（移植の平年並み）
- ・次年度は面積を拡大して検証

7

## 2 昨年度の目標及び成果・達成状況

(1) 地域農業の将来の在り方について合意形成に向けた検討が行われ、課題が整理・共有される

⇒合意に向けた課題が理解・共有され、受け手等継続検討することとなった。

(2) 地域農業の収益性を高めるための高収益作物候補品目について試験栽培を含む検討が行われる

⇒えだまめとさつまいもの試験栽培実施。

えだまめの導入を目指して、次年度も試験栽培を実施。

(3) 乾田直播の試験栽培をとおし、改善点が整理される

⇒播種作業やドローン活用の研修会の実施等を通じ、直播栽培の安定化や作業時間の短縮が図られ、次年度の面積拡大に繋がった。

8

### 3 今年度の目標

- (1) 地域農業の将来の在り方について地区で合意形成される。
- (2) 収益性を高めるため高収益作物が選定される。
- (3) 乾田直播の試験栽培技術を習得するとともに規模拡大に向けた作期分散が可能になる。

#### 【数値目標】

担い手への農地集積について合意形成に達した面積

R4 : 2.9ha → R5 : 2.9ha → R6 : 13.9ha

9

### 上半期の取組

#### (1) 地域農業の将来の在り方の合意形成

##### ①かわら版の継続発行（6・7・9月発行）

昨年度は、行事（委員会や農作業）の開催案内がメインでしたが、今年度は、委員会で議論した内容を分かりやすく紹介する記事や、合意形成に向けたアンケートの実施（9月）となりました。

10



# かわら版 第1号

令和5年7月28日 表山田・三段田地区ほ場整備事業推進委員会

ほ場整備事業への理解を深めるとともに、地域農業の将来の在り方について合意形成を図るため、地域のコミュニティー紙「かわら版」を発行します。

## えだまめの収穫作業がまもなく始まります

地域農業の収益向上に向けて、今年から高収益作物である「えだまめ」と「さつまいも」の試験栽培を開始しました。

### ○えだまめ（栽培面積約4.4a）

5月1日と12日の2回に分けて播種しました。順調に生育し、現在はさやが膨らみ、まもなく収穫となります。道の駅大谷海岸に出荷しますので、お問い合わせください。



### ○さつまいも（栽培面積約6.6a）

5月28日に「紅あずま」の苗を定植しました。6月16日の大雨で一時的に冠水しましたが、生育への影響はなく、現在

11 11

# かわら版 第7号

令和6年7月26日 表山田・三段田地区ほ場整備事業推進委員会

## ほ場整備事業推進委員会を開催しました

7月23日に市役所や県など関係機関を交え、打合せを実施しました。内容は以下のとおりです。

### ① 担い手の設定について

受益面積から担い手は3者は難しいと回答されました。

→ 株式会社小峯興業と小野寺佑友氏の2者とする。

### ② 集積目標の設定について

地元負担を少なくするためには、担い手に農地を集積して国から助成金をもらう必要があります。助成金を最も多くもらう（地元負担を最小にする）ためには、集積率を85%以上にする必要があります。

→ 担い手の2者と農業委員会を通じた賃貸借契約等により、農作業の集約化を行い、集積率の目標を85%にする。

今後、9月末までに以下について地元で議論してまとめる必要があります。



12

## (2) 高収益作物（えだまめ）について

- ・ 昨年度は、4.4aでの栽培であったが、今年度は、11.2aに拡大。
- ・ 品種は、昨年同様、早生種の「白老早生」。
- ・ 労働や販売面から収穫時期を長くするため、
  - ① 播種時期を10日程ずらし3回に分けた「段播き」を実施（去年は2回）。
  - ② 中早生品種の「湯上り娘」を導入。



13

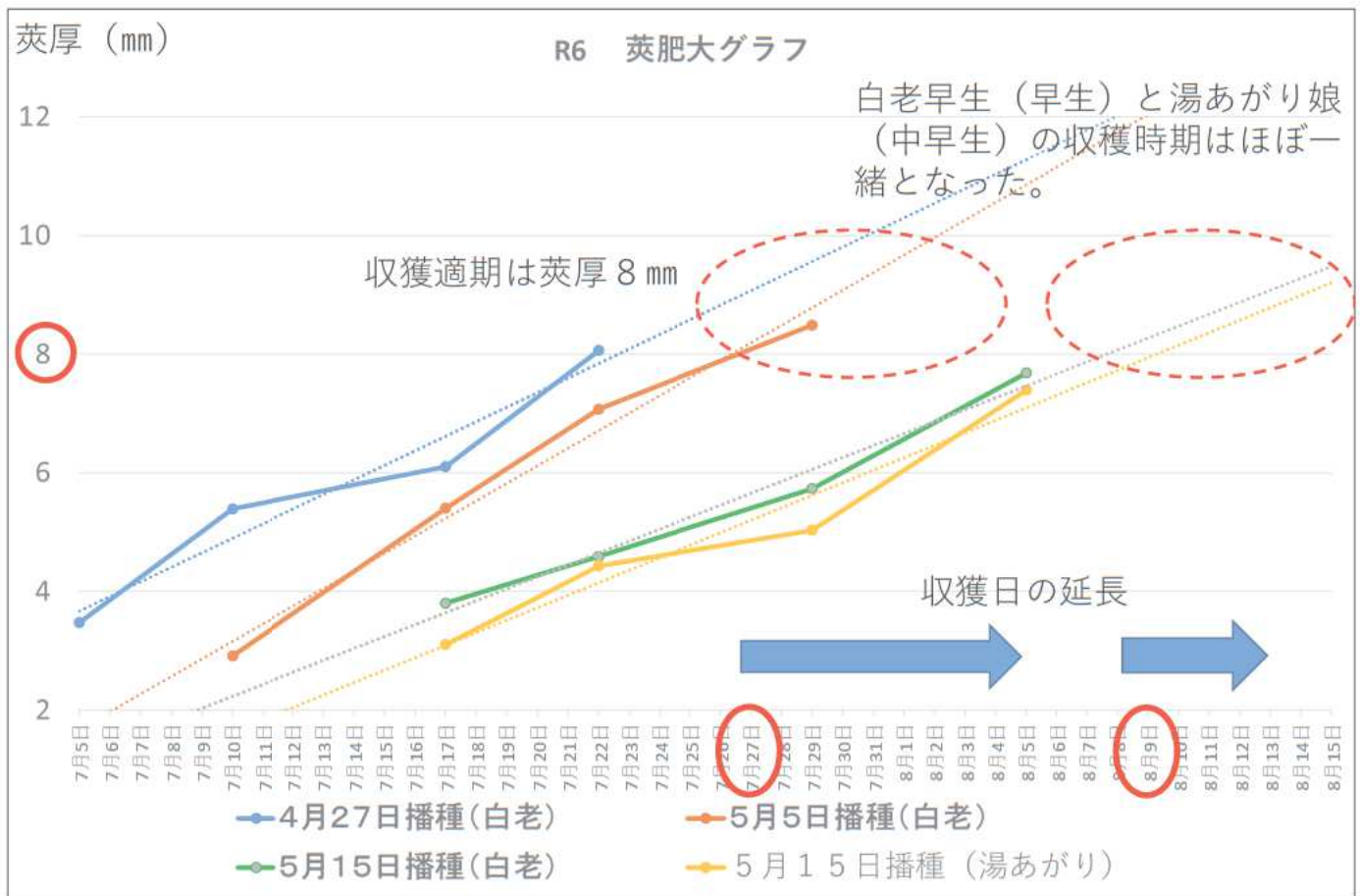
## (2) 高収益作物について



14



## (2) 高収益作物について



15

## (2) 高収益作物について

- 莢厚の生育調査を週1回行い、収穫予想日の情報共有と収穫スケジュールの調整を実施。
- 4月27日播種 (白老早生) と5月5日播種 (白老早生) は **7月27日から** 収穫開始。
- 5月15日播種 (白老早生、湯あがり娘) は **8月7日から** 収穫開始。

⇒ 3回に分けた「段播き」を実施することで、収穫日数は15日と昨年に比べ5日増やすことができた。

16



### (3) 省力化技術向上支援(水稲)

- 1 取組概要  
乾田直播栽培（ドリル・V溝）3ha  
品種：ひとめぼれ
- 2 主な活動内容  
生育調査（6回）等  
⇒結果を基に、定期的に栽培管理を検討  
（水管理、追肥、病虫害防除等）
- 3 これまでの課題  
昨年に続いて漏水発生⇒播種床の鎮圧不足か？



3/25 播種



7/10 ドローン  
による追肥



8/5 出穂の状況

### (3) 省力化技術向上支援(大麦)

- 1 取組概要  
ドリル播種0.7ha、不耕起V溝播種栽培1.3ha  
品種：ホワイトファイバー（もち麦）
- 2 主な活動内容
  - ・赤かび病防除支援
  - ・適期刈取支援  
⇒農産物検査で「2等」
  - ・令和7年産に向けた課題整理と対応策検討  
（播種時期、雑草防除、施肥体系）



10/24 ドリル播種



5/22 生育状況



6/7水分測定

## 4 年度後半の活動内容

(1) 地域農業の将来の在り方について地区で合意形成される。

- ・ アンケート結果を基に農地利用計画を協議する。

(2) 収益性を高めるため高収益作物が選定される。

- ・ 連作障害対策のため、緑肥作物の効果を検証。
- ・ 振り返りを行い、次年度に向けた検討実施。

(3) 乾田直播の試験栽培技術を習得するとともに規模拡大に向けた作期分散が可能になる。

- ・ 乾田直播栽培における課題整理と次年度に向けた対応検討。
- ・ ほ場整備後の農地集積を見据えた作期分散の検討。

19

## 5 対象者からのご意見

農地利用計画の話し合いなど、これから具体的な詰めの話し合いをしていくが、普及センターのリードが非常にありがたい、今後とも指導を願いたい。

表山田・三段田地区ほ場整備推進委員会 三浦敏治郎委員長



20